



森の楽校だより

VOL. 13

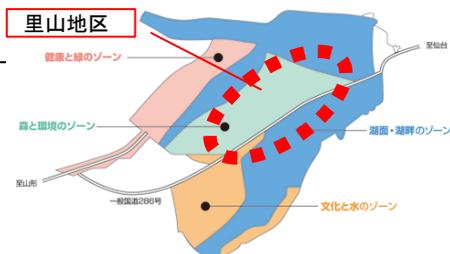


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



9月29日（土）曇り時々雨のち晴れ 木材整理、皮むき

台風接近の影響もなく、活動できました。

天気予報では、台風接近を知らせていましたが、活動中は時より小雨が降るものの、午後には日も差し、無事活動を行うことができました。



デッキ裏の階段

ファーストデッキ裏手の低い階段のステップを据直し、両脇に新たに柱を建てました。



木材の整理

伐採した木材や端材を整理しました。材料を有効利用するために大きさごとに仕分け、細い材は長さを切り揃えました。



ツリーハウス周辺の清掃

ツリーハウス周辺にベンチなどを置いた休憩スペースをつくるため、スギの葉や小枝を取り除き、整地をしました。



皮むき

手作りの皮むきナイフ（左下）を使って、スギの皮むきを行いました。最初に鉋で切れ込みを入れ、皮むきナイフを幹と皮の間に差し込むと夏に十分水分を吸ったスギはびっくりするほどきれいに皮がむけていきます。



アカハライモリ

木材の整理の最中、黒く小さな生き物が見つかりました。これはアカハライモリの子供です。イモリというと水辺や水中にいるイメージがありますが、雨の日などには湿気の多い林などを移動することもあるようです。このアカハライモリは、ツリーハウス南側の湿った耕作地跡から移動していたのではないかと考えられます。アカハライモリは、宮城県のレッドデータブックに地域個体群として記載されている希少種です。



初秋の草花

夏から初秋にかけての草花が咲く中、8月に紹介したクルマユリの花が実になっていました。



クルマユリの実



アキノキリンソウ



ミズヒキ